

# 4400万円の新規事業



## 利用者支援事業 (母子保健型)等

880万円



妊娠期から子育て期に渡る、切れ目ない支援を提供するために「子育て世代包括支援センター」を設置し、育児等の悩みや不安について保健師等によるきめ細かな相談支援を行います。

また、産前・産後サービスとして心身のケアや育児のサポートを重点的に取り組みます。

## 北山保育所建築事業 4億3395万円

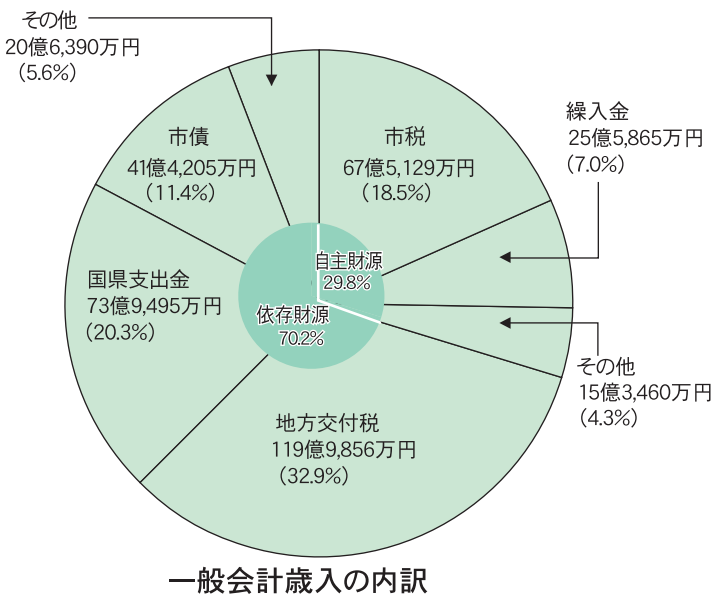
築40年を経過し、老朽化が進んでいた市立北山保育所の園舎の建替えを行います。現保育所の隣接地に新園舎を建築し、新たな耐震基準を満たした安全・安心な環境を整え、地域の保育ニーズに応えます。

## 矢部地区小中学校校舎等整備事業 2億7838万円

矢部地区の小中一貫教育（義務教育学校開設）に向けて、小学校部分の校舎建設および既設中学校の一部改修を行います。

3月定例会は2月20日から3月14日までの23日間の会期で開催しました。市長より提案された議案は、総額3億6440万円の令和元年度一般会計当初予算案や条例案、八女市副市長に松崎賢明氏を、教育長に橋本吉史氏を任命する人事案などで、いずれも原案どおり可決・承認しました。予算は予算審査特別委員会を設置して集中的に審査しました。（主な審査内容については8ページをご覧ください）

# 健やかに暮らしていけるまちづくり～



区分	予算額
一般会計	364億4,400万円
特別会計	
国民健康保険事業費	84億7,476万円
簡易水道事業費	2億2,454万円
住宅新築資金等貸付事業費	205万円
下水道事業	12億4,933万円
介護保険事業費	79億9,980万円
後期高齢者医療	10億7,730万円
農業集落排水事業	8,163万円
矢部診療所	6,354万円
黒木町串毛財産区	77万円
黒木町木屋財産区	731万円
企業会計水道事業	9億8,418万円
総計	566億921万円

# 令和元年度 一般会計予算 364億

※予算における会計年度の名称は改元日以降は当該年度全体を通じて「令和」に統一されました。

## 道の駅たちばな

### 食のスペース等新築事業 2億9823万円

「道の駅たちばな」の敷地内に、来場者のための休憩室や飲食テナント等の食のスペースと、6次産業化の促進による魅力的な商品開発を推進するための農産加工室の整備を行います。



### ひきこもり対策推進事業 533万円

ひきこもり状態にある人の相談窓口・機関の情報発信や支援拠点づくりおよび相談支援体制の整備を行い、関係団体との連携強化を図りながら、ひきこもりサポーターによる個別支援、自立支援を行います。

### 老朽危険家屋等 除去推進事業 300万円

空き家の問題を解決し、生活環境の保全や安全で安心なまちづくりを推進するため、老朽危険家屋に対する解体費用の補助を行います。

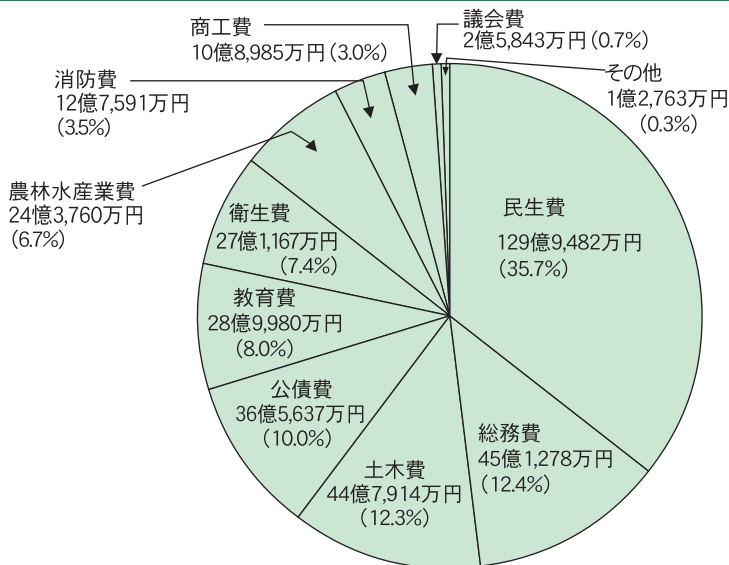
### 危険ブロック塀等 対策事業 109万円

災害発生時に通学路や避難路の安全な通行を確保するため、倒壊の危険性が高いブロック塀の撤去費用に対して、一部助成を行います。

## 当初予算を可決 ～あらゆる世代の方が

### 一般会計の歳出を 性質別にみると…

費目	金額(割合)
扶助費	71億5,718万円 (19.7%)
普通建設事業費	56億929万円 (15.4%)
物件費	52億5,962万円 (14.4%)
人件費	48億6,163万円 (13.4%)
補助費等	47億1,981万円 (13.0%)
繰出金	41億2,594万円 (11.3%)
公債費	36億5,676万円 (10.0%)
その他	10億5,376万円 (2.8%)
合計	364億4,400万円 (100%)



一般会計歳出の内訳

# 令和元年度一般会計予算に対する質疑

## ～予算審査特別委員会～

予算審査特別委員会は議長を除く全議員で構成され、分科会（各常任委員会）ごとに審査が行われました。

**問** 合併10周年記念式典の内容と費用について。

**答** 現在の八女市として歩み始めて、来年2020年で10年を迎える。10年間のあゆみを振り返るとともに、さらなる新市の一体感を醸成するために10周年記念式典を実施する。具体的な予算の内訳としては、式典開催にかかる業務委託料と記念のパンフレットや映像作成などの費用である。

**問** 老朽危険家屋等除却推進事業補助金の考え方について。

**答** 補助を付けることで、空き家を故意に老朽危険家屋まで放置して補助を付ける、いわゆるモラルハザード（果たすべき注意等を怠ったりすることでおきる道徳的危険）を懸念した。しかし、これまで空き家の所有者から話を聞くと、高齢者の方が多く、年金暮らしの方もおられ、解体したいが手出しするお金がないという声もあり、

少しでも老朽危険家屋をなくすために解体補助を創設した。

**問** ひきこもり対策推進事業の内容は。

**答** 制度の狭間などにあるひきこもり支援に対応するため、関係機関とのネットワークを構築し、支援の拠点づくりに努め、支援事業を実施するものである。

**問** 農福連携コーディネート業務委託料の内容は。

**答** 現在、市の農業振興課、八女市社会福祉協議会、JA等の関係機関と研究・協議をしているが、今後協議会を立ち上げ、農業分野と福祉分野をつなぎ、障がい者の社会参加特に農業における障がい者の雇用を年間を通じてコーディネートしていきたいと考えている。

**問** やめつつ子未来館内に子育て世代包括支援センターを設置するにあたり、例えば母子健康手帳の交付などこれまで各支所でできていたことができないなどのサービスの低下につながるのか。

**答** 母子健康手帳は、子育て世代包括支援センターで交付を予定しているが、本庁、各支所でも交付を行うなど、サービスの低下を招かないように対応する。

**問** 矢部小中一貫校区学童保育所改築工事費の内容は。

**答** 矢部小中一貫校の建設が決まり、それに伴い学校の1室に学童保育所を設置する。児童の安心安全の確保がしやすく学校と連携ができるということで、国は80%を学校と一体的に併設する計画を持っている。

**問** 斎場について、現在老朽化が認められるところがあるが、今後はどうにしていきたいか。

**答** 八女市の斎場整備等あり方検討委員会を立ち上げており、施設の現況を含め、今後の方向性を決めていく予定である。

**問** 健康増進施設（べんがら村）管理費が高額となっている理由は。

**答** 改修基本設計業務委託料の内容については、建物調査及び温泉配管等の設備調査並びにお客様の満足度を高めるためのソフト面の魅力向上等を含め



た基本設計を行うことを計画している。今回の基本設計では、新設時にはなかった建物の設備調査及びお客様の満足度を上げるソフト面の業務を行う。

**問** アンテナショップ運営事業について費用対効果などの説明を。

**答** 昨年は売り上げが1億円を超えているので、生産者・出荷者の所得の向上につながっていると考えている。また、新鮮な農産物や加工品は消費者からの人気が高くなり、品質の高い八女の商品としていいイメージが発信できていると考えている。